

国際協力研究科カリキュラム・ポリシー

博士課程前期課程

神戸大学のカリキュラム・ポリシーにもとづき、国際協力研究科は以下の方針に則りカリキュラムを編成する。

1. 「人間性」を身につけるため、専門を越えた社会科学の幅広い教養に関する共通中核科目を一年次に開講する。
2. 「創造性」を身につけるため、演習等を開設する。
3. 「国際性」を身につけるため、海外実習および海外におけるインターンシップを科目として開講する。
4. 深い学識を涵養し、国際協力研究科ディプロマ・ポリシーが定める専門的能力を身につけるため、各学位に応じた専門性の高い科目を開講する。

修士（国際学）

- ・国際学に関する知識を身につけ、国際学を基盤として様々な事象に対する的確な判断のための論理的分析ができるように開発評価論、比較教育発展論等の科目を開設する。

修士（経済学）

- ・経済学に関する知識を身につけ、経済学を基盤として様々な事象に対する的確な判断のための論理的分析ができるように開発経済論、計量経済分析等の科目を開設する。

修士（法学）

- ・法学に関する知識を身につけ、法学を基盤として様々な事象に対する的確な判断のための論理的分析ができるように国際機構法、法整備支援論等の科目を開設する。

修士（政治学）

- ・政治学に関する知識を身につけ、政治学を基盤として様々な事象に対する的確な判断のための論理的分析ができるように比較計量政治分析、比較政治分析等の科目を開設する。
5. 国際協力研究科ディプロマ・ポリシーが定める、より一層の国際性を身につけるため、海外実習および海外におけるインターンシップ、さらにこれに加えて開発政策特別コースの英語による科目を組み入れる。

なお、これらの科目は、講義・実習等の授業形態に応じて、アクティブラーニング、体験型学習などを適宜組み合わせて行う。

学修成果の評価は、次の方法で行う。

- ・講義科目については、筆記試験、レポート、参加度等により、学修目標に即して多元的、包括的な方法で到達度を判定する。
- ・演習及び実習科目については、レポート、参加度、発表内容、実習内容等により、学修目標に即して多元的、包括的な方法で到達度を判定する。

博士課程後期課程

神戸大学のカリキュラム・ポリシーにもとづき、国際協力研究科は以下の方針に則りカリキュラムを編成する。

1. 「人間性」「創造性」を身につけるため、研究報告Ⅰ、研究報告Ⅱ、研究報告Ⅲを行う。
2. 「国際性」を身につけるため、国際組織運営論、高度海外研究・インターンシップを開講する。
3. 国際協力研究科ディプロマ・ポリシーが定める豊かな学識及び高度の研究能力を身につけるため、博士（学術）、博士（経済学）、博士（法学）、博士（政治学）の各学位に応じた特殊研究を開講する。
4. 国際協力研究科ディプロマ・ポリシーが定める、より一層の国際性を身につけるため、国際組織運営論の受講、高度海外研究・インターンシップ、さらにこれに加えて開発政策特別コースの英語による科目を組み入れる。

なお、これらの科目は、講義・実習等の授業形態に応じて、アクティブラーニング、体験型学習などを適宜組み合わせで行う。

学修成果の評価は、次の方法で行う。

- ・講義科目については、筆記試験、レポート、参加度等により、学修目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。
- ・特殊研究及び実習科目については、レポート、参加度、発表内容、実習内容等により、学修目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。

カリキュラムマップ

修士（国際学）	1 年次		2 年次
人間性	トランスナショナル関係論 開発社会調査論 開発ミクロ経済学Ⅰ 開発マクロ経済学Ⅰ	統計的方法 国際協力法 開発人権法 政治学方法論	修士（経済学）、修士（法学）、修士（政治学）の科目
専門性	グローバル政治論Ⅰ、Ⅱ 国際安全保障論 援助行政論 トランスナショナル関係論特論 開発運営論 開発評価論 人的資源開発論 アフリカ経済論 アフリカ政治論 開発運営論特論 比較教育発展論 比較教育社会論		教育開発論 教育開発評価論 国際保健医療論 感染症対策論 疫学・公衆衛生学概論 国際変動論 国際制度論 都市・地域計画論 国際防災論 環境文化形成論 水環境管理計画論 災害復興論
創造性	トランスナショナル関係論演習 開発運営論演習 教育協力論演習		保健医療論演習 国際防災論演習 Special Seminar
国際性	海外実習 海外インターンシップ		開発政策特別コースの英語による科目

修士（経済学）	1 年次		2 年次
人間性	トランスナショナル関係論 開発社会調査論 開発ミクロ経済学Ⅰ 開発マクロ経済学Ⅰ	統計的方法 国際協力法 開発人権法 政治学方法論	修士（国際学）、修士（法学）、修士（政治学）の科目
専門性	開発経済論Ⅰ 開発経済論Ⅱ 経済協力論 開発金融論 開発経済論特論 社会開発論 地域開発論 環境資源経済論 開発政策論特論 開発ミクロ経済学Ⅱ 開発マクロ経済学Ⅱ	計量経済分析 開発計画論特論 国際構造調整論 国際金融論 比較経済発展論 比較経済体制論 地域経済論 地域経済特論 日本経済発展論 日本社会経済論	
創造性	開発経済論演習 開発政策論演習 開発計画論演習 国際構造調整論演習	比較経済発展論演習 地域経済論演習 日本経済論演習 Special Seminar	
国際性	海外実習 海外インターンシップ	開発政策特別コースの英語による科目	

修士（法学）	1 年次		2 年次
人間性	トランスナショナル関係論 開発社会調査論 開発ミクロ経済学Ⅰ 開発マクロ経済学Ⅰ	統計的方法 国際協力法 開発人権法 政治学方法論	修士（国際学）、修士（経済学）、修士（政治学）の科目
専門性	国際人権法 国際機構法 国際極域法Ⅰ 国際環境法 国際協力法特論 国際経済法 国際法外交実務論 比較法制論 国際協力法各論 法と持続的開発 開発社会法 法整備支援論 イスラム法社会論		
創造性	国際協力法演習 Special Seminar		制度構築論演習
国際性	海外実習 海外インターンシップ		開発政策特別コースの英語による科目

修士（政治学）	1 年次		2 年次
人間性	トランスナショナル関係論 開発社会調査論 開発ミクロ経済学Ⅰ 開発マクロ経済学Ⅰ	統計的方法 国際協力法 開発人権法 政治学方法論	修士（国際学）、修士（経済学）、修士（法学）の科目
専門性	開発社会文化論 制度構築論特論 政治発展論 比較政治 比較行政 政治学研究入門	比較政治文化 比較計量政治分析 政治社会発展論特論 比較民主主義論 対外政策論	
創造性	政治社会発展論演習 Special Seminar	現代政治論演習	
国際性	海外実習 海外インターンシップ	開発政策特別コースの英語による科目	

博士（学術）	1 年次	2 年次	3 年次
人間性 創造性	研究報告Ⅰ	研究報告Ⅱ	研究報告Ⅲ
専門性	特殊研究 Advanced Research	特殊研究 Advanced Research	特殊研究 Advanced Research
国際性	国際組織運営論 高度海外研究 Value Co-creation for Sustainable Development 海外インターンシップ 開発政策特別コースの英語による科目		

博士（経済学）	1 年次	2 年次	3 年次
人間性 創造性	研究報告Ⅰ	研究報告Ⅱ	研究報告Ⅲ
専門性	特殊研究 Advanced Research	特殊研究 Advanced Research	特殊研究 Advanced Research
国際性	国際組織運営論 高度海外研究 Value Co-creation for Sustainable Development 海外インターンシップ 開発政策特別コースの英語による科目		

博士（法学）	1 年次	2 年次	3 年次
人間性 創造性	研究報告Ⅰ	研究報告Ⅱ	研究報告Ⅲ
専門性	特殊研究 Advanced Research	特殊研究 Advanced Research	特殊研究 Advanced Research
国際性	国際組織運営論 高度海外研究 Value Co-creation for Sustainable Development 海外インターンシップ 開発政策特別コースの英語による科目		

博士（政治学）	1 年次	2 年次	3 年次
人間性 創造性	研究報告Ⅰ	研究報告Ⅱ	研究報告Ⅲ
専門性	特殊研究 Advanced Research	特殊研究 Advanced Research	特殊研究 Advanced Research
国際性	国際組織運営論 高度海外研究 Value Co-creation for Sustainable Development 海外インターンシップ 開発政策特別コースの英語による科目		